令和7年度自己評価結果公表シート

作成　幼保連携型認定こども園　大阪常磐会大学付属いずみがおか幼稚園

1、 本園の教育目標

温かく安らぐ生活の中で、豊かな感性、好奇心、思考力の基礎を培う

【望ましい子ども像】

・健康な生活の仕方を身につけ、自分のことを自分でしようとする子ども

・自分を大切に、友達も大切にする子ども　　・ちがいを受け入れ共に育ちあう子ども

・よく見、よく聞き、よく考える子ども　　・心をうごかし、やってみようとする子ども

・感じたことを豊かに表現し、自分らしくのびのび生活する子ども

2、 本年度、重点的に取り組む目標・計画

・保育の疑問やうまくいかなかった経験の声も大切に、教職員がチームとなり「こどもがまんなか」遊びは学びの観点から教職員同士が共に考察し学び合うことで「子ども理解」「寄り添う力」の向上につなげ、保育の楽しさがより感じられるようにする。

・「園の大切にしている保育」と「子どもの育ち」を丁寧にわかりやすく広めることで本園の教育・保育に対する保護者や地域からの理解や共感につなげる。

・大学、短期大学部、付属 3 園で乳幼児教育研究会の在り方を探り、「こどもによりそうあなたを育てる」のキャッチフレーズのように教職員の質の向上につながる研修を行う。

3、達成状況

研究テーマ　『　つながる保育を考える（人とのつながり・時間のつながり・経験のつながり）　』

(1) 幼保連携型認定こども園としての教育・保育の創造

① 未就園児クラスや園庭開放、園行事に参加できる機会を提供した。利用する機会が増えると、保護者から保育教諭に話しかける姿も見られ保護者のリフレッシュや安心につながった。

② 長時間保育利用児の夕食対応、土曜日やお盆、年末年始、学期末等の利用が増えてきたことで教職員のシフトを調節し柔軟に対応したが職員の働き方の観点からは課題が残った。

③ 地域小学校との連携として5歳児の交流や、進学に向けて情報共有を進めた。「架け橋期のカリキュラム」については小学校グループに分かれたが進めることが難しかったので小学校にも呼びかける。

(2) 園児の生活の充実と安全確保

① ビデオを利用した研究保育を通じて、子どもの姿の受け止めに関して多面的に子どもを見る幅が広がってきつつある。他の保育教諭の保育観にも触れ自分なりの視点を広げる姿がみられ、保育計画にも反映できる機会がもてた。また、自分で感じる振り返りと、他者から見た振り返りの視点を大切に保育の見直しを行うことで保育を深く考える機会につながった。

② 5 歳児が「籾」を育て稲にして、田植え、収穫、もみ殻取りまで自分たちで行い玄米を食べるまで栽培活動を行った。その時々に起こるトラブルに 5 歳児らしい発想でいろいろ試しながらかかわった記録を論文にまとめた。

③ 2･3 歳児のかかわりを意識し計画してきたことで、2 歳児が3歳児へ進級した際安心して新しい保育室で過ごす姿が見られた。

④ 園庭斜面、朽ちてきた木製オブジェの撤去等を行い安全に遊べるようにした。

⑤ 保護者アンケートより、2 号認定こどもが帰る際担任となかなか話す機会がないという声が聞かれた。シフトと働き方の両観点から 対応を考える。

4、 学校関係者評価

・地域高齢者施設を訪問、子ども達が歌を歌ったり、ふれあい遊びをしたりして楽しんだ。「かわいい子どもから元気をもらった。」「また遊びにきてね。」と沢山話しかけていただいた。子ども達からは、「自分達がしたことを喜んでもらえたことが嬉しかった。」という声が聞こえた。

・本園夏祭りに地域の方も招待する中、参加された方が感想を手作りの新聞に載せてくださった。先生たちの仮装も面白かったとの声が聞かれた。

・12月に地域子育て支援「ひだまり」で本園保育教諭がクリスマスガーランドづくりやふれあい遊び手袋シアター等を行った。参加された保護者の方から、「子どもと一緒に作れたので家でもまた作ってみます。」「いつも側から離れないけれども、みんなと一緒にお話を聞いていた。」という感想が聞かれた。毎月「ひだまり」が行われているが、年々参加される子育て家庭が減少していることから、来年度は回数を減らし行う方向性であることを聞いているが、引き続き参加することとなっている。

・登園時、駐車場の順番を待つ車が歩行者の妨げになっている訴えがあった。職員で混雑状況に合わせて整理しながら対応するようにした。

5、今後取り組むべき課題（令和8年度計画）

課　　題	具体的な取り組み方法
【教育・研究課題】 『つながることで育つもの　願いを込めてつなげる保育者の役割』	・子どもの今を見つめ、丁寧に考察・記録する中で子どもの興味や考えたことを実現できるよう日々の保育のつながりを考える。また活動を通して育てたい姿や何が育っているのかを保育教諭間で共有し、かかわる。

6、財務状況　　公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。